



2024 年 12 月 15 日		(朝 10 : 30-11 : 30)
聖 日 礼 拝		司会 城尾マコト
前 奏	全員黙祷 「新聖歌 23 番」	ヒムプレヤー
招 詞	ヨハネ 3 章 16 節	司会者
頌 栄	「新聖歌 60 番」	ヒムプレヤー
主の祈り	(プログラムに印刷)	全 員
使徒信条	(プログラムに印刷)	全 員
交読文	52 番 ルカ 1 章 869 頁	司会者・全 員
聖 書	マタイ 5 章 38 ～ 39 節	司会者
讃美歌	新聖歌 209 慈しみ深き	ヒムプレヤー
祈 祷	司会者による祈り	
	子供達の祝福の為の賛美 484 番	ヒムプレヤー
讃美歌	新聖歌 82 牧人羊を	ヒムプレヤー
メッセージ	「イエス様を心に迎える」	城尾淳一
讃美歌	新聖歌 221 ああ主の瞳	ヒムプレヤー
	証とお知らせの時間	
献 金	新聖歌 55 番	
頌 栄	新聖歌 63 番	
祝 祷		城尾マコト牧師
後 奏	全員黙祷 新聖歌 59 番	
		Youtube
		Facebook

## 今週のお話の要約

### イエス様を心に迎える

イエス様は、私たちの罪を救うためにこの世に生まれてくださいました。しかし、その救いの方法は非常に厳しく、十字架という残酷な刑罰を通して成し遂げられました。イエス様は、私たちが本来受けるべき罰を代わりに背負い、一度きりの完全な贖いを成し遂げられたのです。

昔、人々が罪を赦されるためには、動物をいけにえとして捧げる必要がありました。しかし、これは一時的な解決であり、罪を完全に取り除くことはできませんでした。それに対して、イエス様は十字架の上でご自分を聖なる供え物として捧げ、全人類の罪を一度で完全に赦してくださいました。

「信じる」というのは単なる知識ではありません。「わたしの罪のためにイエス様が十字架に掛けられた」という事実を心の底から感謝し、イエス様を救い主として受け入れることです。神様の愛と赦しを信じ、感謝の気持ちをもって歩むことが大切です。

また、クリスマスは、イエス様の誕生を喜び感謝する日です。私たちの心に光を届けるために、この世に来てくださったイエス様を、私たちの心に迎え入れましょう。

聖書に書かれている「右の頬を打たれたら左の頬を向けなさい」という教えも、単に非暴力を意味するものではありません。それは、復讐ではなく愛と赦しを選ぶことの重要性を教えています。イエス様ご自身も十字架の上で人々の悪意を受け入れ、赦しを示されました。

日々の生活の中で、家族や友人に感謝の言葉を伝えたり、神様に祈ることから始めてみましょう。イエス様を心に迎えるとき、私たちの人生は新しい希望と愛に満たされます。